

分析結果報告書〔 3 〕 1 / 3

2 . 1 排ガス試料(硫黄酸化物)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得 (複数回答可)	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO / IEC 17025 (ガイト' 25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	() 年
分析主担当者の実績 (年間の分析試料数)	()

測定回数 注 1)	()
------------	-----

注 1) 分析用試料のはかり取りから吸光度等の測定までの一連操作を行った回数 (1 ~ 5 の整数) を記入する。
この測定回数分の分析結果を次の表 < 分析結果 > に記入する。

回数 注 2)	分析結果 (vol ppm) 注 2)	
	検出下限値以上 注 3)	検出下限値未満での検出下限値 注 4)
1 回目		
2 回目		
3 回目		
4 回目		
5 回目		

注 2) 上記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注 3) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字 3 桁で記入する。

注 4) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字 1 桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1 . イオンクロマトグラフ法 2 . 沈殿滴定法 (アルセナゾ 法) 3 . 沈殿滴定法 (トリン法) 4 . 比濁法 (光散乱法) 5 . 中和滴定法 6 . その他 ()
分析に使用した水	1 . 蒸留水 2 . イオン交換水 3 . 超純水 4 . その他 ()

< 試料溶液の調製 >

方法	1 . 吸収瓶を用いて調製する方法 2 . その他 ()
吸収瓶を用いて調製する方法	
試料 (ガス) 分取量 注 5)	() ml
吸収管の数	()
吸収液量 (全体)	() ml
吸収液の種類	1 . 過酸化水素水 2 . その他 ()
試料 (ガス) 分取量 注 6) (標準状態における乾きガス量)	() ml

注 5) 「ガスメータで測定したガス量 (ml) 」を記入する。

注 6) 「標準状態 (0 , 101.32kPa) における乾きガス量 (ml) 」を記入する (「ガスメータで測定したガス量」から算出する) 。

分析結果報告書〔 3 〕 2 / 3

< イオンクロマトグラフ法 >

試料溶液の希釈（希釈倍率）	希釈倍率（ ）	希釈しない場合は希釈倍率 = 1 とする
注入量	（ ） μl	
試料の指示値	（ ）	
注 7)	（ ）	
	（ ）	
	（ ）	
	（ ）	
	（ ）	
空試験の指示値	（ ）	
検量線の作成	作成点数	（ ）
	作成範囲（濃度）	最小（ ） mg-SO ₄ /l ~ 最大（ ） mg-SO ₄ /l
	最高濃度の指示値	（ ）
装置	1 . サプレッサー付き 2 . サプレッサーなし	

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

< 沈殿滴定法（アルセナゾ 法） >

試料溶液の分取量	（ ） ml
試料の滴定量（5mmol/l 酢酸バリウム溶液の量）	
注 7)	（ ） ml
	（ ） ml
空試験の滴定量	（ ） ml

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

< 沈殿滴定法（トリン法） >

試料溶液の分取量	（ ） ml
試料の滴定量（5mmol/l 過塩素酸バリウム溶液の量）	
注 7)	（ ） ml
	（ ） ml
空試験の滴定量	（ ） ml

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

< 比濁法（光散乱法） >

試料溶液の分取量	（ ） ml	
吸収セルの光路長	（ ） mm	
波長	（ ） nm	
試料の吸光度	（ ）	
注 7)	（ ）	
	（ ）	
	（ ）	
	（ ）	
	（ ）	
空試験の吸光度	（ ）	
検量線の作成	作成点数	（ ）
	作成範囲（量）	最小（ ） mg-SO ₄ ~ 最大（ ） mg-SO ₄
	最高濃度の吸光度	（ ）

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

分析結果報告書〔 3 〕 3 / 3

< 中和滴定法 >

試料溶液の分取量	() ml
試料の滴定量 (0.05mol/l 水酸化ナトリウム溶液の量)	
注 7) 1 回目	() ml
2 回目	() ml
3 回目	() ml
4 回目	() ml
5 回目	() ml
空試験の滴定量	() ml

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

< イオン電極法 >

試料の希釈 (希釈倍率)	希釈倍率 ()	希釈しない場合は希釈倍率 = 1 とする
試料の指示値 1 回目	()	
注 7) 2 回目	()	
3 回目	()	
4 回目	()	
5 回目	()	
空試験の指示値	()	
検量線の作成 作成点数	()	
作成範囲 (濃度)	最小 () mg-SO ₄ /l ~ 最大 () mg-SO ₄ /l	
最高濃度の指示値	()	
定量方法	1 . 絶対検量線 2 . 標準添加 3 . その他 ()	

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

< 吸光度法 >

試料溶液の分取量	() ml
吸収セルの光路長	() mm
波長	() nm
試料の吸光度 1 回目	()
注 7) 2 回目	()
3 回目	()
4 回目	()
5 回目	()
空試験の吸光度	()
検量線の作成 作成点数	()
作成範囲 (量)	最小 () mg-SO ₄ ~ 最大 () mg-SO ₄
最高濃度の吸光度	()

注 7) 測定回数分の指示値を記入する。

分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	
------------------------------	--

計算式	
-----	--